

12

便利な使いかた

メニュー一覧表	12-2
いろいろな機能を設定する	12-4
スケジュール機能を利用する	12-12
目覚ましを利用する	12-17
電卓を利用する	12-18
位置情報を利用する	12-19
イヤホンマイクをつなぐ	12-25
メロディBOXを利用する	12-26
ピクチャーBOXを利用する	12-29
国際ローミングを利用する （国際ローミング）	12-33
国際電話をかける （ウィルコム国際電話サービス）	12-37
ウィルコムのサービスを利用する	12-38
ダイヤルアップ接続時に ワンタイムパスワードを使用する	12-41

メニュー一覧表

	メニュー	機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	参照ページ
		公衆	オフィス	グループ		
メール	11 受信メール	○	○	○	—	8-13
	12 送信メール	○	○	○	—	8-7
	13 Eメール送受信	○	○	×	—	8-9、8-14
	14 新規作成	○	○	○	—	8-7、8-43
	15 メール設定	○	○	○	—	8-33
	16 オンラインサインアップ	○	×	×	—	8-5
Web	21 オフィシャルメニュー	○	×	×	—	6-2
	22 インターネット	○	○	×	—	9-7
	23 ブックマーク	○	○	○	—	9-10
	24 ラストURL	○	○	×	—	9-7
	25 画面メモ	○	○	○	—	9-15
	26 Web設定	○	○	○	—	9-24
電話帳	31 電話帳ロック	○	○	○	解除	7-42
	32 電話帳シークレット	○	○	○	表示しない	7-43
	33 電話帳一括消去	○	○	○	—	7-40
	34 電話帳グループ名	○	○	○	グループ1～グループ0	7-41
	35 電話帳転送	×	×	×	—	13-12
アクセサリ	41 スケジュール	○	○	○	—	12-12
	42 目覚まし	○	○	○	0時00分OFF	12-17
	43 メロディBOX	○	○	○	—	12-26
	44 ピクチャーBOX	○	○	○	—	12-29
	45 電卓	○	○	○	—	12-18
	46 USB充電	○	○	○	高速	12-4
録音再生	51 留守録設定	○	○	○	OFF	7-55
	52 安全運転モード設定	○	○	×	OFF	7-47
	53 メモ録音	○	○	○	—	7-52
	54 録音再生	○	○	○	—	7-58
	55 録音一括消去	○	○	○	—	7-59
	56 応答メッセージ	○	○	○	固定メッセージ	7-56
	57 留守録応答時間	○	○	○	12秒	7-59
	58 安全運転モード種類	○	○	×	電話機留守録	7-47
音	61 着信音	○	○	○	公衆：パターン1 Eメール：パターン2 ライトメール：女性【メールです】 スケジュール：アラーム音 目覚まし：目覚ましベル オフィス外線：パターン3 オフィス内線：パターン4 オフィス専用線：パターン5 グループ：パターン9	7-49
	62 着信音量・バイブ	○	○	○	着信音量：中、バイブ：OFF	7-44
	63 オートサイレント	○	○	○	00:00～07:00 OFF	7-46
	64 保留音	○	×	×	パッパ プレリユード	7-51
	65 キータッチ音	○	○	○	ON	7-50
	66 圏外警告音	○	○	○	ON	7-51

メニュー		機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	参照ページ	
		公衆	オフィス	グループ			
ディスプレイ	71	時計表示	○	○	○	大	12-6
	72	色設定	○	○	○	パターン 1	12-6
	73	バックライト	○	○	○	点灯時間: 15 秒 微灯時間: 10 秒 通話中微灯: OFF 充電台微灯: ON キーロック中微灯: 電源キーのみ	12-7
	74	着信 LED	○	○	○	着信: ベリドット メール着信: サファイア スケジュール: シトリン 目覚まし: アクアマリン	12-9
	75	リマインダー	○	○	×	ON、アメジスト	12-10
通信	81	待受モード	○	○	○	公衆	13-3
	82	グループ登録	○	○	○	-	13-8
	83	ダイヤルアップ設定	○	○	○	-	9-29
	84	位置情報通知	○	×	×	OFF	12-19
	85	発信設定					
		発信者番号通知	○	○	○	ON	11-2
		サブアドレス	○	○	×	ON	12-10
		優先発信切替	○	○	○	オフィス、グループ優先	13-6
		外線発信番号	×	○	×	未登録	13-5
	発信先応答通知	○	○	○	OFF	7-52	
86	着信設定						
	発番号非通知ガード	○	○	×	全て OFF	11-3	
	着信拒否	○	○	×	未登録	11-4	
	通信中着信	○	×	×	ON	11-6	
87	データ通信方式	○	○	×	ベストエフォート	10-14	
88	オフィス番号選択	○	○	×	-	13-7	
89	国際ローミング	○	×	×	国内	12-33	
その他	91	定型文編集	○	○	○	未登録	7-23
	92	ユーザー辞書	○	○	○	-	7-19
	93	メモリ使用状況表示	○	○	○	-	8-32
	94	エニーキーアンサー	○	○	○	OFF	12-11
	95	ロック設定					
		オートロック	○	○	○	OFF	11-11
		リモートロック	○	○	×	OFF	11-12
		管理者ロック*	○	×	×	OFF (先頭一致発信許可: 未登録)	11-18
	96	暗証番号	○	○	○	0000	11-8
	97	設定リセット	○	○	○	-	11-26
98	メモリー一括消去	○	○	○	-	11-27	
99	時刻設定						
		○	○	○	2007年01月01日00時00分 時刻の自動補正: ON	1-18 12-6	
0	プロフィール表示	○	○	○	-	12-4	
#	ダイヤルロック設定	○	○	○	解除	11-10	

○: 機能を使うことができます。

×: 機能を使うことができません。

※USB制限については、公衆、オフィス、およびグループモードで機能を使うことができます。

いろいろな機能を設定する

プロフィールを表示する

本電話機に割り振られている公衆の電話番号、オフィスの登録番号、グループモードのトランシーバ番号、およびローミング用の電話番号を表示します。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン) と押す

待受モードに設定しているモードの電話番号が表示されます。デュアルモードに設定している場合は、公衆モードの電話番号が表示されます。

2 を押して、各モードの番号を表示する

 を押すと、手順1で表示された番号を基点に、公衆→オフィスの登録番号→グループ1→グループ2→グループ3→ベトナムローミング電話番号→タイローミング電話番号→台湾ローミング電話番号→Eメールアドレスの順に、 を押すと逆順に切り替わります。登録されていない番号は「未登録」と表示されます。 (戻る) または  を押すと、メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- グループ登録で、本電話機を送信側に設定している場合は「マスタ」と表示されます。
- オフィスモードの番号は、オフィス番号選択で設定している登録番号が表示されます。「オフィス番号を選択する (番号選択)」(※ 13-7ページ)
- 複数のグループを登録しているときは、それぞれの番号を表示します。
- ローミングモードをベトナム、タイまたは台湾に設定しているときは   を押したとき、設定中のローミング先のローミング電話番号が表示されます。「国際ローミングを利用する (国際ローミング)」(※ 12-33ページ)
- ベトナム、タイおよび台湾ローミング電話番号の表示では、ローミング電話番号を登録した日時も表示されます。

USB充電

USBケーブルでパソコンと接続中に充電することができます。

USB充電を設定する

USBで充電を行う場合、本機能を「高速」または「低速」に設定します。「高速」に設定したときは「低速」に設定したときと比べて短時間で充電できますが、その分パソコンの消費電流が多くなります。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン) と押す

2 を押して、「1.高速」、「2.低速」または「3.OFF」を選択する

3 (決定) を押す

「設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- 充電時間は、高速充電の場合約2.5時間、低速充電の場合約15時間です。
- 接続するパソコンによっては、本機能を「高速」に設定している場合でも充電に時間がかかったり、充電ができない場合があります。
- 本電話機の電源を切った状態でパソコンに接続しても、本機能の設定に従って充電ができます。
- 本機能を「OFF」に設定してパソコンに接続した場合、データ通信を行っていても電池を消費して待ち受け時間が短くなることがあります。また、本電話機の電源を切った状態でも、USB充電を「OFF」に設定してパソコンに接続した場合は、電池を消費して待ち受け時間が短くなる場合があります。
- バッテリー内蔵のノートパソコンをコンセントに接続しない状態で使用する場合、ノートパソコンの動作時間は、「低速」に設定したときのほうが「高速」に設定したときと比べて長くなります。
- お買い上げ時は「高速」に設定されています。

USBケーブルを接続して充電する

USBケーブル (Mini-B対応) でパソコンと本電話機を接続し、充電します。
パソコンと接続して充電するには、パソコンにUSBドライバをインストールする必要があります。USBドライバのインストールについては「USBドライバのインストール」(※10-5ページ)をご覧ください。また、パソコンとの接続方法については「パソコンと接続する」(※10-2ページ)をご覧ください。

1 「パソコンと接続する」(※10-2ページ)の手順に従い、本電話機とパソコンを接続する

確認音が鳴り、画面に「USB」が点灯し、「データ通信OK」と表示されます。
画面右上には充電状態を表すマークが表示され、着信LEDが点灯します。

● 画面のマークと着信LEDの表示

	画面のマーク	着信LED
高速充電	充電中は「  」が、充電完了時は「  」が点灯します。	充電中は赤色に点灯し、充電完了時には消灯します。
低速充電	充電中は「  」が、充電完了時は「  」が点灯します。	接続後、約5秒間のみ赤色に点灯します。 [*]

※ 省電力のため、接続してから約5秒後に消灯します。充電の完了は画面のマーク表示で確認してください。

お知らせ

- USBハブを使用しての充電には対応しておりません。必ずパソコンのUSBポートに直接接続してご使用ください。また、動作保証もいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- パソコンの機種によっては、本電話機をUSBケーブルで接続したとき、本電話機の画面に「」または「」が点灯した直後に電池マーク(「」など)が点灯し、再度「」または「」が点灯する場合がありますが、故障ではありません。
- Mac OS Xをご利用の場合は、USBケーブル経由でパソコンから充電することはできません。
- 充電中は、本電話機が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 電池残量がなくなったときは、USBケーブルからの充電を行うことができません。必ず、卓上充電器を使用してください。「卓上充電器で充電する」(※1-5ページ)

時計表示

待ち受け画面の時計表示を、大／小に切り替えることができます。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

 と押す

2 を押して「時計表示」を選択し、

 (決定) を押す

時計表示の設定が変更されます。

 (決定) を押すごとに、大／小が切り替わります。

● 時計表示メニューアイコンの表示

 : 大

 : 小

お知らせ

- お買い上げ時は「大」に設定されています。

時刻の自動補正

パケット通信開始時に、ネットワーク側から受信した時刻情報をもとに本電話機の時刻を自動的に補正します。正しい時刻より進めたり遅らせたりして使用する場合には、本機能を「OFF」に設定してください。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押して「2.時刻の自動補正」を選択し、 (決定) を押す

3 を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、 (決定) を押す

「設定しました」と表示され、時刻の自動補正が設定されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。
- ネットワーク側の時刻と本電話機の時刻に30秒以上のずれがあった場合に自動補正されます。そのため「ON」に設定し、パケット通信を行っても30秒程度の誤差が生じる場合があります。
- 音声通話やPIAFSでの通信時には自動補正されません。

色設定

画面の背景色などのパターンを選択することができます。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押して、好みのパターンを選択する

3 (決定) を押す

選択した色のパターンが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「パターン1」に設定されています。

バックライト

ボタンを押したときに、画面とボタンのバックライトを点灯するかどうかを設定できます。バックライトの微灯（画面のバックライトの明るさが弱い状態）設定もできます。

点灯時間を設定する

本電話機の動作が終了してから、画面とボタンの明るさを保持する時間を設定できます。

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

  と押す

2 を押して「1.点灯時間」を選択し、 (決定) を押す

3 を押して、点灯時間を選択する

5秒、15秒、60秒、OFFから選択できます。

4 (決定) を押す

お知らせ

- お買い上げ時は「15秒」に設定されています。
- 設定した点灯時間を経過すると、画面のバックライトは点灯から微灯になり、ボタンのバックライトは点灯から消灯になります。
- 点灯時間を「OFF」に設定しているときは、バックライトは点灯状態にならず、微灯状態になります。

微灯時間を設定する

「点灯時間」で設定されている時間が経過した後の、画面のバックライトの微灯時間を設定できます。

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

  と押す

2 を押して「2.微灯時間」を選択し、 (決定) を押す

3 を押して、点灯時間を選択する

10秒、30秒、60秒、120秒から選択できます。

4 (決定) を押す

お知らせ

- お買い上げ時は「10秒」に設定されています。
- 着信中は、微灯時間の設定にかかわらず微灯の状態が続きます。
- 設定した微灯時間中は、画面のバックライトは微灯になりますが、ボタンのバックライトは消灯になります。
- 設定した微灯時間を経過すると、画面のバックライトは消灯になります。

通話中微灯を設定する

通話またはデータ通信中に、設定されている「微灯時間」が経過しても、画面のバックライトをそのまま微灯し続けるかどうかを設定できます。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押して「3.通話中微灯」を選択し、

 (決定) を押す

3 を押して、「1.ON」または「2.OFF」を選択する

▶ 「1.ON」を設定すると

通話またはデータ通信が開始されるとバックライトが点灯し、点灯時間が経過してから通話またはデータ通信が終了するまで微灯状態が続きます。

▶ 「2.OFF」を設定すると

通話またはデータ通信が開始されるとバックライトが点灯し、点灯時間が経過すると微灯になり、微灯時間が経過すると消灯になります。

4 (決定) を押す

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

充電台微灯を設定する

本電話機を卓上充電器に置いておくと、設定されている「微灯時間」が経過しても、画面のバックライトをそのまま微灯し続けるかどうかを設定できます。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押して「4.充電台微灯」を選択し、

 (決定) を押す

3 を押して、「1.ON」または「2.OFF」を選択する

▶ 「1.ON」を設定すると

本電話機を卓上充電器に置くとバックライトが点灯し、点灯時間が経過してから本電話機を卓上充電器から外すまで微灯状態が続きます。

▶ 「2.OFF」を設定すると

本電話機を卓上充電器に置くとバックライトが点灯し、点灯時間が経過すると微灯になり、微灯時間が経過すると消灯になります。

4 (決定) を押す

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。
- 充電台微灯を「ON」に設定していても、USB充電をしているときは、「微灯時間」で設定されている時間が経過すると消灯になります。「USB充電」(※ 12-4 ページ)
- 充電台微灯を「ON」に設定しているときは、本電話機を卓上充電器に置いておくと、充電が完了しても微灯状態が続きます。

キーロック中微灯を設定する

キーロック中にボタンを何か押したときに、画面のバックライトを微灯にするかどうかを設定できます。「ボタン操作をロックする（キーロック）」（※11-9ページ）

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押して「5. キーロック中微灯」を選択し、 (決定) を押す

3 を押して、「1. エニーキー」、「2. 電源キーのみ」または「3.OFF」を選択する

▶ 「1. エニーキー」を設定すると

キーロック中にボタンを何か押すと、画面のバックライトが微灯になります。

▶ 「2. 電源キーのみ」を設定すると

キーロック中に  を押すと、画面のバックライトが微灯になります。

▶ 「3.OFF」を設定すると

キーロック中にボタンを何か押しても、画面のバックライトは微灯になりません。

4 (決定) を押す

お知らせ

- お買い上げ時は「電源キーのみ」に設定されています。
- キーロック中の微灯時間は、約10秒に固定設定されています。

着信LED

以下の場合での着信LEDの色を、個別に設定することができます。

- ・電話がかかってきたとき
- ・Eメールやライトメールを受信したとき
- ・スケジュールのアラーム時刻になったとき
- ・目覚ましの設定時刻になったとき

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

着信LEDの設定画面が表示されます。

2 を押して設定したい項目を選択し、 (決定) を押す

3 を押して、色を選択する

以下の7色と、「8. レインボー」、「9.OFF」から選択します。

- ・ペリドット
- ・アクアマリン
- ・サファイア
- ・アメジスト
- ・ルビー
- ・ムーンストーン
- ・シトリン

「8. レインボー」では上記の7色を順に切り替えて点滅します。

4 (決定) を押す

手順1の画面に戻ります。

続けてほかの動作の着信LEDの色を設定するには、手順2～4の操作を繰り返します。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は次の通りです。
 - ・着信：ペリドット
 - ・メール着信：サファイア
 - ・スケジュール：シトリン
 - ・目覚まし：アクアマリン

リマインダーを設定する

不在着信があったときなどに、着信LEDの点滅でお知らせします。

1 待ち受け画面で  (Menu ボタン)
  と押す

2  を押して、「1.0N」または「2.0FF」
を選択し、 (決定) を押す

▶ 「2.0FF」を選択したとき

メッセージが表示され、待ち受け画面に戻ります。

3  を押して、色を選択する

以下の7色と、「8.レインボー」から選択します。

- ・ベリドット
- ・アクアマリン
- ・サファイア
- ・アメジスト
- ・ルビー
- ・ムーンストーン
- ・シトリン

「8.レインボー」では上記の7色を順に切り替えて点灯します。

4  (決定) を押す

リマインダーの設定が変更され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- いずれかのボタンを押すとリマインダーの動作は停止します。
- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

サブアドレス

ISDN回線は1つの回線に複数の端末を接続できます。このため、ISDN端末には、普通の電話番号に加えて端末独自の番号を設定できます。この番号を「サブアドレス」といいます。電話番号をダイヤルしたあと、 を押してサブアドレスをダイヤルすることで、希望する端末だけを呼び出せます。

ISDN端末にダイヤルするときは、あらかじめ本電話機のサブアドレスを「ON」に設定しておく必要があります。

1 待ち受け画面で  (Menu ボタン)
  と押す

発信設定の画面が表示されます。

2  を押して、「2.サブアドレス」を選択する

3  (決定) を押す

4  を押して、「1.0N」を選択する

5  (決定) を押す

「設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。
- サブアドレスはグループモードでは利用できません。
- オフィスモード時、オフィスシステム(PBX)によってはサブアドレスによる呼び出しができないことがあります。

エニーキーアンサー

電話がかかってきたときに、、以外のいずれかのボタンを押して、電話に出られるように設定できます。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

 と押す

2 を押して「エニーキーアンサー」を選択し、○ (決定) を押す

エニーキーアンサーの設定が変更されます。

○ (決定) を押すごとに、ON / OFF が切り替わります。

● エニーキーアンサーメニューアイコンの表示

 : ON

 : OFF

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

スケジュール機能を利用する

商談や会議などのスケジュールを登録しておくことができます。指定した時刻に画面にスケジュールが表示され、アラームでお知らせします。

スケジュールは最大100件まで登録できます。

カレンダーの日付は2002年1月1日から2099年12月31日まで選択できます。

またスケジュールは、vCalendar形式でEメールに添付して送信・受信することができます。(一部対応していない機能もあります。)

スケジュールを登録する

カレンダーを表示させて、任意の日時にスケジュールを登録できます。カレンダーは1か月単位で表示されます。

スケジュールを登録するときは、あらかじめ日付・時刻を設定しておく必要があります。「日時を設定する」(P.1-18ページ)

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

当月のカレンダーが表示されます。当日の日付が反転表示されています。

すでにスケジュールが登録されている日付の右横には、スケジュール件数に応じて「■」が付いています。ただし、3件を超える場合でも3個しか表示しません。1日のすべての時間を使うスケジュールは赤い「■」で表示されます。

2 を押して登録したい日にカーソルを合わせる

、 で前後の月の表示に切り替えることもできます。

3 (メニュー) を押す

4 を押して「1.新規登録」を選択し、 ○ (決定) を押す

スケジュールの開始時刻を入力する画面が表示されます。

手順2で選択した日付が入力されています。

5 開始時刻を入力する

6 ○ (決定) を押す

スケジュールの入力項目を選択する画面が表示されます。

以下の項目を選択し、登録します。

- ・ 件名
- ・ アラーム時刻
- ・ アラーム
- ・ 内容
- ・ 場所
- ・ 終了日時
- ・ 全日

7 を押して件名の欄を選択し、 ○ (決定) を押す

件名の入力画面が表示されます。

8 件名を入力して、○ (決定) を押す

「文字を入力する」(P.4-5ページ)

9 を押してアラーム時刻の欄を選択し、 ○ (決定) を押す

10 アラーム時刻を入力し、○ (決定) を押す

11 を押してアラームの欄を選択し、 ○ (決定) を押す

12  を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、（決定）を押す

13  を押して内容の欄を選択し、（決定）を押す

14 内容を入力し、（決定）を押す

15  を押して場所の欄を選択し、（決定）を押す

16 場所を入力し、（決定）を押す

17  を押して終了日時の欄を選択し、（決定）を押す

18 終了時刻を設定して、（決定）を押す

19  を押して全日の欄を選択し、（決定）を押す

20  を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、（決定）を押す

21 （登録）を押す

登録が完了し、カレンダー表示画面に戻ります。

お知らせ

- スケジュール登録中に着信があったときは、登録中のスケジュールは保存されます。
- アラーム音の設定は着信音選択で行います。「着信音やアラームを設定する」(※7-49ページ)
- パソコンと本電話機との間でファイルを転送中（画面に「データ転送」が点滅しているとき）はスケジュールのアラームは鳴りません。

■アラーム時刻になると

アラーム時刻になると、アラームが1分間鳴り、画面にはスケジュールが表示されます。アラームを途中で停止させるには、（停止）を押します。

待ち受け画面に戻るには、を押します。

■未確認のスケジュールがあるときは

待ち受け画面に「」が点灯します。

マイメニューから「」を選択すると、一番古い未読スケジュールがある日にカーソルが移動します。

お知らせ

- アラームの音量は、着信音量の設定に従います。「着信音量を設定する」(※7-44ページ)
- バイブレータ、あるいはマナーモードが設定されているときは、バイブレータの振動とともにスケジュールを表示します。また、着信音量が「OFF」、あるいはマナーモードが設定されているときは、アラーム音は鳴りません。
- アラーム時刻に電源が入っていなかった場合は、電源を入れたあとにアラームと表示でお知らせします。
- 通話中にアラーム時刻になったときは、受話口（レシーバ）からアラームが鳴ります。
- 通話中にアラームを停止させるには、（停止）を押してください。を押すと、通話が切れてしまいます。

スケジュールの内容を表示する

登録したスケジュールの内容を1日ごと、1件ごとに表示できます。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

当月のカレンダーが表示されます。当日の日付にカーソルがあります。

▶ 前後の月のカレンダーを表示するには

先月は  を、翌月は  を押す

2 を押して表示したい日にカーソルを合わせる

3 ○ (決定) を押す

選択した日付のスケジュールの一覧が表示されます。

▶ 前後の日付のスケジュールを表示するには

前日は  を、翌日は  を押す

4 を押して表示したいスケジュールを選択し、○ (決定) を押す

選択したスケジュールの詳細が表示されます。

スケジュールの登録内容を修正する

登録されたスケジュールの内容は修正することができます。また、登録済みのスケジュールをもとにして、新たにスケジュールを作成することもできます。

1 一日表示画面を表示する

「スケジュールの内容を表示する」(※同じページ内です。)の手順1～3

2 を押して、修正したいスケジュールを選択する

4 を押して「2.編集」を選択し、○ (決定) を押す

▶ 選択したスケジュールをもとに、新たにスケジュールを作成するとき

「3.コピーを作成」を選択し、○ (決定) を押す
この場合、もとのスケジュールは変更されません。

3 (メニュー) を押す

5 必要に応じ、開始日時、件名、アラーム時刻、内容、場所、終了日時などを変更する

「スケジュールを登録する」(※12-12ページ)の手順6以降

スケジュールの内容を消去する

個別消去する

1 一日表示画面を表示する

「スケジュールの内容を表示する」(※12-14ページ)の手順1~3

2 を押して消去したいスケジュールを選択する

3 (メニュー) を押す

4 を押して「4.個別消去」を選択し、 (決定) を押す

5 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 個別消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

6 (決定) を押す

選択したスケジュールが消去され、「消去しました」と表示されます。

一括消去する

すべてのスケジュールを消去することができます。

1 待ち受け画面で、 (Menuボタン) と押す

2 (メニュー) を押す

3 を押して「6.一括消去」を選択し、 (決定) を押す

一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

4 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

5 (決定) を押す

もう一度、一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

6 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す
カレンダー表示画面に戻ります。

7 (決定) を押す

スケジュールがすべて消去され、「消去しました」と表示されます。

前日までのスケジュールを消去する

前日までのスケジュールをすべて消去することができます。

1 カレンダー表示画面を表示する

「スケジュールの内容を表示する」(≒ 12-14 ページ)の手順1

2 (メニュー) を押す

3 を押して「5.前日まで消去」を選択し、○ (決定) を押す

前日までのスケジュールを消去するかどうかを確認する画面が表示されます。

4 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 「前日まで消去」を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○ (決定) を押す

5 ○ (決定) を押す

もう一度、前日までのスケジュールを消去するかどうかを確認する画面が表示されます。

6 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 「前日まで消去」を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○ (決定) を押す

7 ○ (決定) を押す

前日までのスケジュールが消去され、「消去しました」と表示されます。

目覚ましを利用する

曜日ごとに、目覚ましのON/OFFと動作時刻を設定することができます。設定した時刻になると、1分間目覚まし音が鳴り、完全に停止させるまで最大5回まで繰り返し目覚まし音が鳴ります。

目覚ましを設定するには、あらかじめ日付・時刻を設定しておく必要があります。「日時を設定する」(※P.1-18ページ)

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

曜日ごとの目覚ましのON/OFFの設定と、動作時刻が表示されます。

2 を押して、設定したい曜日を選択する

3 (決定) を押す

4 を押して「1.ON」を選択する

▶ 目覚ましを解除するには

「2.OFF」を選択し、 (決定) を押す
目覚ましが解除され、手順1の画面に戻ります。

5 (決定) を押す

6 ダイヤルボタンで、目覚ましを鳴らしたい時刻を入力する

▶ 時刻を修正するには

- ①  を押して、修正したい箇所にカーソルを移動する
- ② ダイヤルボタンで時刻を入力する

7 (決定) を押す

目覚ましが設定され、手順1の画面に戻ります。
目覚ましの設定中は、待ち受け画面には「」が点灯されます。
続けて他の曜日を設定するときは、手順2～7の操作を繰り返します。

■設定時刻になったとき

設定に従って目覚まし音が鳴り、「」が点滅します。「着信音やアラームを設定する」(※P.7-49ページ)目覚ましは終了させるまで、1分間お知らせ・4分間停止の動作を5回繰り返します。

待ち受け画面での目覚ましのお知らせ中に (停止)、 以外のいずれかのボタンを押すと、目覚まし音のみ一時停止し、1分間お知らせ画面を表示したあと、4分後に再度お知らせします。この操作は目覚ましを完全に終了する動作ではありません。

目覚ましを終了させるには、 (停止)、または を押します。

お知らせ

- 通話中に設定時刻になったときは、受話口(レシーバ)から目覚まし音が鳴ります。
- 通話中に目覚まし音を停止させるには、 (停止) を押してください。 を押すと、通話が切れてしまいます。
- パソコンと本電話機との間でファイル転送中(画面に「データ転送」が点滅しているとき)は目覚まし音が鳴りません。

電卓を利用する

10桁までの足し算、引き算、掛け算、割り算ができます。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 各ボタンで計算式を入力する

各ボタンの機能は次の通りです。

   : 0 ~ 9 (数字)

 : + (足し算)

 : - (引き算)

 : × (掛け算)

 : ÷ (割り算)

 (.) : . (小数点)

 (C) : C (クリア)

 : 1 桁消去

 : + / - の切り替え

 : 逆数の計算

3 (=) を押す

結果が表示されます。

4 計算が終わったら を押す

待ち受け画面に戻ります。

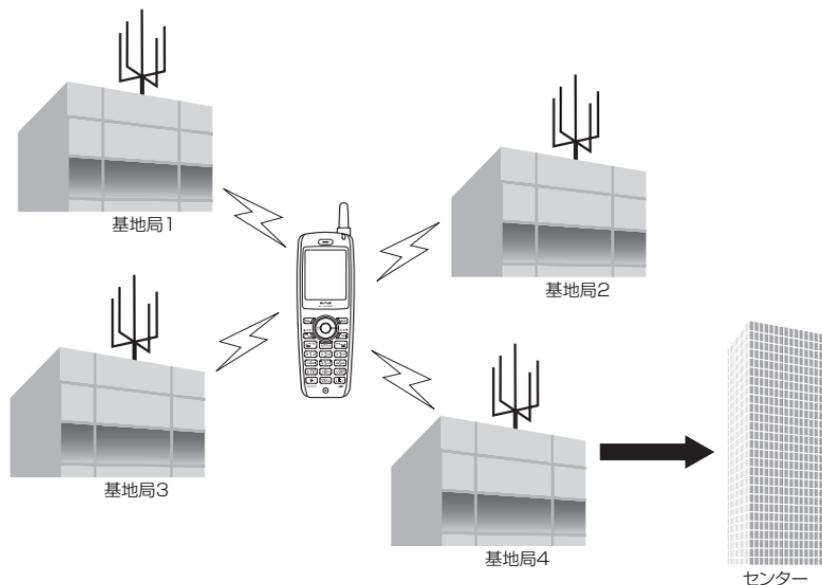
お知らせ

-  (.) を押したあと、小数点以下を入力する前に  (+ - × ÷) キーを押した場合は、小数点入力キャンセルされます。
- 計算結果が 11 桁以上になるときは、「Error」と表示され、計算できません。

位置情報を利用する

位置情報通知機能の概要

位置情報通知機能とは、電話機が受信している複数の基地局の基地局情報（識別番号と電波の強さ）をセンターに通知する機能です。位置情報通知機能には、「発信型」と「着信型」があります。



基地局の電波の強さで、基地局から本電話機までのおおよその距離がわかります。センターでは、それらをもとに本電話機の場所を計算します。

ウィルコムでは位置情報サービスを利用した「ウィルコム位置検索サービス」を提供しています。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(☎ A-27ページ)

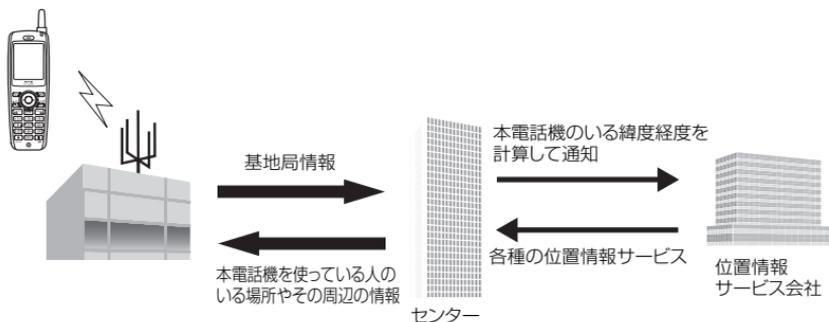
便利な使いかた

位置情報を利用する

■発信型機能

電話機からセンターに基地局情報を通知し（発信）、自分のいる位置や周辺の情報などの各種位置情報サービスを得ることができます。

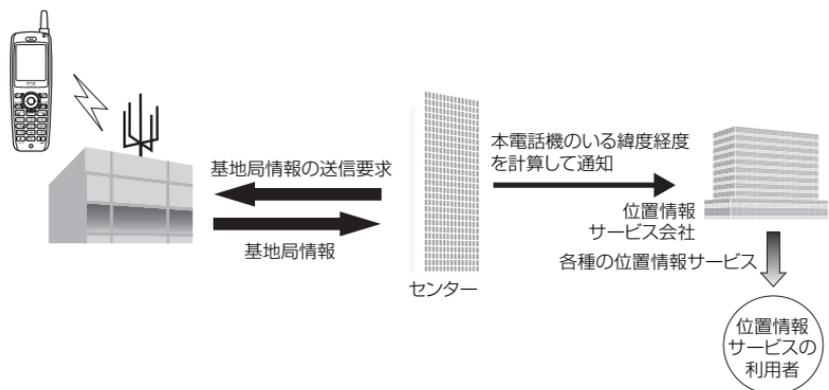
センターは受け取った基地局情報をもとに、本電話機のいる場所を算出し、サービス会社に通知します。この情報をもとに、サービス会社は各種情報サービスを提供します。



■着信型機能

センターからの問い合わせ（着信）に応じて、本電話機の基地局情報をセンターに通知し、第三者が本電話機の位置情報を知ることができる機能です。

便利な使いかた



位置情報を利用する

位置情報通知機能を利用できるようにする

位置情報通知機能には発信型と着信型があります。発信型機能にはサブアドレス方式とユーザ・ユーザ方式があります。着信型機能はユーザ・ユーザ方式になります。サブアドレス方式を利用するには、あらかじめ位置情報通知LIを「ON」に設定する必要があります。ユーザ・ユーザ方式を利用するには、あらかじめ位置情報通知LIを「ON」に設定し、自動位置情報送出版を「ON」に設定する必要があります。

位置情報LIを設定する

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

  と押す

2 を押して「1.ON」を選択し、 ○ (決定) を押す

位置情報通知LIが設定され、「設定しました」と表示されます。

設定されると、「自動位置情報送出版」を設定する画面が表示されます。

3 を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、○ (決定) を押す

▶ 「1.ON」を選択し、○ (決定) を押すとユーザ・ユーザ方式をご利用になれます。「自動位置情報送出版をする」(※同じページ内です。)へ進んでください。

▶ 「2.OFF」を選択し、○ (決定) を押すと

発信型機能(サブアドレス方式)のみをご利用になれます。

お知らせ

- お買い上げ時は、「位置情報通知LI」は「OFF」、「自動位置情報送出版」は「OFF」に設定されています。

自動位置情報送出版をする

通知許可番号、着信音設定、および自動位置情報送出版機能の設定ができます。センターからの位置情報送出版の問い合わせ(着信)に対して、自動的に位置情報を送出する設定です。

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

  と押す

2 を押して「1.ON」を選択し、 ○ (決定) を押す

位置情報通知LIが設定され、「設定しました」と表示されます。

3 を押して「1.ON」を選択し、 ○ (決定) を押す

4 ダイヤルボタンで暗証番号を入力し、 ○ (決定) を押す

「暗証番号を設定する」(※11-8ページ)

5 を押して「2.通知許可番号」を選択し、○ (決定) を押す

センターから位置情報送出版の問い合わせ(着信)があったときに、センターへ自動的に位置情報を送出する際の番号設定です。自動的に送出版しないようにするには、手順13と14を参照してください。通知許可番号が設定されていないときには、「1.着信音設定」と「3.自動位置情報送出版機能」は選択できません。

6 を押して「1.通知許可番号1」を選択し、○ (決定) を押す

- 7 ~ で通知許可番号を入力し、
○ (決定) を押す

20桁まで入力できます。

▶ 通知許可番号を入力しなおすには

を押すと1桁消去され、 を約1秒以上押すとすべて消去されます。また、手順8で通知許可パスワードを入力しても○ (決定) を押す前であれば、 (戻る) を押すと、手順7の通知許可番号を入力する画面に戻ります。

- 8 ~ で通知許可パスワードを入力する

通知許可パスワードは8桁まで入力できます。ただし、全桁0で設定した場合は、着信型位置情報機能はご利用になれません。

▶ 通知許可パスワードを修正するには

通知許可パスワードを入力しても○ (決定) を押す前であれば、 を押すと1桁消去され、 を約1秒以上押すとすべて消去されます。

- 9 ○ (決定) を押す

「登録しました」と表示され、通知許可番号登録画面に戻ります。

続けて他のパスワードを入力するには、手順6から操作を繰り返します。

- 10 (戻る) または を押す

- 11 を押して「1.着信音設定」を選択し、
○ (決定) を押す

- 12 を押して「1.ON」を選択し、
○ (決定) を押す

着信音が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 着信音を鳴らさなくするには

「2.OFF」を選択し、○ (決定) を押します。着信音の設定が解除され、「設定しました」と表示されます。

- 13 を押して「3.自動位置情報送出機能」を選択し、○ (決定) を押す

- 14 を押して「1.ON」を選択し、
○ (決定) を押す

自動位置情報送出機能が設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を「ON」に設定すると、自動位置情報送出設定が「ON」になり、待ち受け画面に「LI」が表示されます。

▶ 自動的に送出しないようにするには

「2.OFF」を選択し、○ (決定) を押します。自動位置情報送出機能の設定が解除され、「設定しました」と表示され、待ち受け画面の「LI」が消えます。自動位置情報送出機能は一時的に解除されますが、通知許可番号や通知許可パスワードの設定は消去されません。

お知らせ

- お買い上げ時は、「着信音設定」は「ON」、「自動位置情報送出機能」は「OFF」に設定されています。

発信型機能を利用する

位置情報を通知する

サブアドレス方式とユーザ・ユーザ方式の2種類の通知方式があります。

■サブアドレス方式で通知する

1 待ち受け画面で を約 1 秒以上押す

入力画面に「♥」が表示されます。

2 「ダイヤルボタン」でセンターの電話番号を入力する

▶ (メニュー) を押すと

電話帳登録、184、186、分計発信、ポーズ、および区切り表示を使用できます。

「電話帳に登録する」(※7-31ページ)

「通話ごとに発信者番号の通知/非通知を設定する」(※7-4ページ)

「料金分計サービスを利用する(有料)」(※12-38ページ)

「ポーズダイヤルを利用する」(※7-7ページ)

「電話番号を入力する」(※7-32ページ)

3 を押す

センターに位置情報が通知され、位置情報通知機能を利用したサービスが利用できるようになります。

■ユーザ・ユーザ方式で通知する

位置情報のみの登録と、ステータスコード付きの位置情報登録の2種類があります。「自動位置情報送出設定をする」(※12-21ページ)の手順7で入力した通知許可番号に対して発信します。

●位置情報のみを登録するには

1 待ち受け画面で を約 1 秒以上押す

▶ (メニュー) を押すと

分計発信を使用できます。

「料金分計サービスを利用する(有料)」(※12-38ページ)

2 を押す

● ステータスコード付きの位置情報を登録するには

ステータスコードについては、あらかじめサービス会社「位置情報通知機能の概要」(※P 12-19ページ)にお問い合わせください。

センターへ登録するステータスコードが「10」のときの設定方法を例にしています。

1 待ち受け画面で と押す

▶ (メニュー) を押すと

電話帳登録、184、186、分計発信、ポーズ、および区切り表示を使用できます。

「電話帳に登録する」(※P 7-31ページ)

「通話ごとに発信者番号の通知/非通知を設定する」(※P 7-4ページ)

「料金分計サービスを利用する(有料)」(※P 12-38ページ)

「ポーズダイヤルを利用する」(※P 7-7ページ)

「電話番号を入力する」(※P 7-32ページ)

▶ (ライト) を押すと

ライトメールを使用できます。

「ライトメールを新規に作成して送信する」(※P 8-43ページ)

2 を押す

お知らせ

● 通知許可番号の引用について

- ・通知許可番号1に登録がある場合は、通知許可番号1が引用されます。
- ・通知許可番号1に登録がない場合は、通知許可番号2が引用されます。
- ・通知許可番号1、2ともに登録がない場合は、通知許可番号3が引用されます。
- ・通知許可パスワードが全桁0で設定されている通知許可番号は、引用されません。

着信型機能を利用する

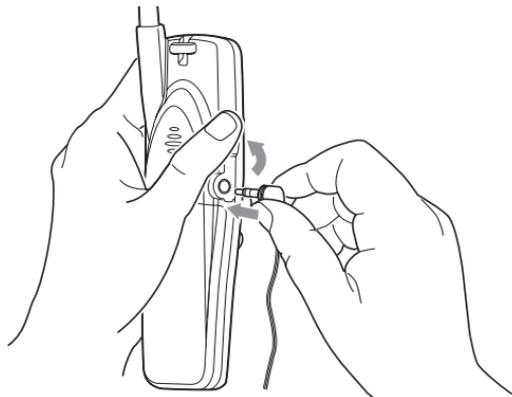
「自動位置情報送出国設定をする」(※P 12-21ページ)の手順7で入力した通知許可番号で、センターより位置情報送出国の問い合わせ(着信)があったときに、自動的に位置情報をセンターへ送致します。

イヤホンマイクをつなぐ

イヤホンマイク端子の使いかた

イヤホンマイク端子には、市販のイヤホンマイク（φ 2.5mm）を接続してご利用いただけます。接続ケーブルは完全に装着してください。

・スイッチ付イヤホンマイクを使用すると、そのスイッチで電話を受けたり、切ったりすることができます。



メロディBOXを利用する

本電話機にあらかじめ登録されているプリセットメロディや、インターネットからダウンロードしたメロディを聴くことができます。

プリセットメロディは5曲が登録されています。ダウンロードメロディは最大10曲まで登録することができます。

プリセットメロディ、ダウンロードメロディは着信音、目覚まし音、スケジュールのアラーム音に利用することができます。

メロディを再生する

メロディBOXに登録されているメロディを再生します。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

メロディの一覧画面が表示されます。
メロディBOXのメロディの種類は次の通りです。

-  : feelsoundのメロディ
-  : MIDIメロディ
-  : プリセットメロディ
-  : 本電話機で再生できないメロディ

2 を押して、再生したいメロディを選択する

3 (再生) を押す

メロディが再生されます。
途中で再生を終了するには  (停止) を押します。
 (戻る) を押すと、メロディの一覧画面に戻ります。

お知らせ

- 再生中、 を押して再生音量を調整できます。
- メロディの再生中に  (戻る) を押すと、メロディを再生したままメロディの一覧画面に戻ります。この状態で  を押すと、選択されたメロディが再生されます。
- パソコンをお使いの場合は、専用のファイル転送ユーティリティを使用してメロディデータをパソコンに転送し、保存することができます。なお、著作権で保護されたメロディデータは本電話機からパソコンに転送することができません。

メロディBOXのメロディをEメールに添付する

メロディBOXに保存されているダウンロードメロディをEメールに添付して送信することができます。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押して、添付したいメロディを選択する

3 (メニュー) を押す

4 を押して、「1.メール添付」を選択する

5 (決定) を押す

メール作成画面が表示されます。
「Eメールを新規に作成して送信する」(P.8-7ページ)

お知らせ

- 著作権で保護されたダウンロードメロディ、およびプリセットメロディは、Eメールに添付することはできません。
- Eメールに添付したメロディのファイル名は、本電話機独自のファイル名に置き換えられます。

タイトルを編集する

メロディBOX内のメロディのタイトルを編集できます。

1 待ち受け画面で  (Menuボタン)

  と押す

メロディの一覧画面が表示されます。

2  を押して、タイトルを編集したいメロディを選択する3  (メニュー) を押す4  を押して「2.タイトル編集」を選択し、 (決定) を押す

5 タイトルを入力する

タイトルは全角40文字(半角80文字)まで入力することができます。
「文字を入力する」(※4-5ページ)

6  (決定) を押す

タイトルが変更され、メロディの一覧画面に戻ります。

メロディを並べ替える

メロディの表示順を並べ替えることができます。

1 待ち受け画面で  (Menuボタン)

  と押す

2  (メニュー) を押す3  を押して「3.並び替え」を選択し、 (決定) を押す4  を押して移動したいメロディのタイトルを選択し、 (決定) を押す5  を押して移動先を選択する6  (決定) を押す
並び替えが完了します。

メロディBOXのメロディを消去する

個別消去する

メロディBOXに保存されているダウンロードメロディを個別に消去します。
なお、プリセットメロディは消去することができません。

1 メロディー一覧から、を押して消去したいメロディーを選択する

2  (メニュー) を押す

3 を押して「4.個別消去」を選択し、
○ (決定) を押す

消去するかどうかを確認する画面が表示されます。

4 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 個別消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○ (決定) を押す

5 ○ (決定) を押す

選択したメロディーが消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 着信音や電話帳の指定着信音・ライトメール着信音、スケジュールアラーム音、目覚まし音、保留音に設定されているメロディーを削除したときは、プリセットメロディーの「モーツァルト K488 3」に設定されます。

一括消去する

メロディーBOXに保存されているダウンロードメロディーをすべて消去します。プリセットメロディーは消去されません。

1 待ち受け画面で  (Menu ボタン)
  と押す

2  (メニュー) を押す

3 を押して「5.一括消去」を選択し、
○ (決定) を押す

一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

4 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○ (決定) を押す

5 ○ (決定) を押す

もう一度、一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

6 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○ (決定) を押す

7 ○ (決定) を押す

プリセットメロディー以外のメロディーがすべて消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 着信音や電話帳の指定着信音・ライトメール着信音、スケジュールアラーム音、目覚まし音、保留音に設定されているメロディーを削除したときは、プリセットメロディーの「モーツァルト K488 3」に設定されます。

ピクチャーBOXを利用する

本電話機にあらかじめ登録されている画像（2件）やインターネットからダウンロードした画像を表示したり、待ち受け画面の壁紙に設定することができます。

画像によっては、完全でないファイルは表示できない場合があります。

ピクチャーBOXの画像を表示する

1 待ち受け画面で （Menuボタン）

  と押す

● 表示されるアイコン

：ダウンロードした画像、または本電話機にあらかじめ登録されている画像

2 を押して、見たい画像を選択し、 （決定）を押す

画像が表示されます。画像が複数保存されているときは、 を押すことで前後の画像を表示することができます。

一覧画面に戻るには  または （戻る）を押します。

▶ 画像が画面より大きいとき

画像のサイズが画面の表示領域（160×128ドット）を超える場合は、画像の中央から表示可能な範囲を表示します。このとき、ガイドランスには「詳細」が表示されます。

○（詳細）を押し、 を押すと、表示しきれない他の部分を表示することができます。（戻る）を押すと元の表示に戻ります。

画面に表示できる画像は240×190ドットまでです。縦横いずれかがこれを上回る場合は、「この画像は大きすぎるためピクチャーBOXでは表示できません」と表示され、元の画面に戻ります。

壁紙を設定する

ピクチャーBOXに登録されている画像データを、待ち受け画面の壁紙に設定します。

1 ピクチャーBOXの画像の一覧から、 を押して壁紙にしたい画像を選択する

2 （メニュー）を押す

画像表示中の画面からも操作することができます。

3 を押して、「1.壁紙設定」を選択する

4 （決定）を押す

選択した画像が壁紙に設定され、「壁紙に設定しました」と表示されたあと、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- 詳細表示、拡大／縮小表示を行った状態で、壁紙に設定することもできます。この場合、画面に表示している状態で、壁紙に設定されます。
- パソコンをお使いの場合は、専用のファイル転送ユーティリティを使用して、画像データをパソコンに転送し、保存することができます。なお、著作権で保護された画像データは本電話機からパソコンに転送することができません。

壁紙を解除する

待ち受け画面に設定された壁紙を解除します。

- 1 待ち受け画面で  (Menu ボタン)
  と押す

ピクチャーBOXの画像の一覧が表示されます。

- 2  (メニュー) を押す

- 3  を押して、「2.壁紙解除」を選択する

- 4 ○ (決定) を押す

壁紙が解除され、「壁紙を解除しました」と表示されたあと、手順1の画像の一覧に戻ります。

ピクチャーBOXの画像をEメールに添付する

ピクチャーBOXに登録されている画像をEメールに添付して送信することができます。

- 1 ピクチャーBOXの画像の一覧から、
 を押して添付したい画像を選択する

- 2  (メニュー) を押す

画像表示中の画面からも操作を行うことができます。

- 3  を押して、「3.メール添付」を選択する

- 4 ○ (決定) を押す

メール作成画面が表示されます。

「Eメールを新規に作成して送信する」(※8-7ページ)

お知らせ

- 画像の拡大／縮小を行った状態でEメールに添付しても、添付される画像は元の大きさの画像となります。「画像を拡大／縮小する」(※12-31ページ)
- Eメールに添付した画像のファイル名は、本電話機独自のファイル名に置き換えられます。

タイトルを編集する

ピクチャーBOX内の画像タイトルを変更できます。

- 1 ピクチャーBOXの画像の一覧から、
 を押してタイトルを編集したい画像を選択する

- 2  (メニュー) を押す

- 3  を押して「4.タイトル編集」を選択し、○ (決定) を押す

- 4 タイトルを入力する

タイトルは全角9文字(半角18文字)まで入力できます。

「文字を入力する」(※4-5ページ)

- 5 ○ (決定) を押す

タイトルが変更され、ピクチャーBOXの画像一覧に戻ります。

画像を拡大／縮小する

画面に表示しきれない画像を縮小したり、小さな画像を画面に合わせて拡大することができます。また、画像を拡大／縮小した状態で壁紙設定を行ったときは、その大きさを壁紙設定されます。「壁紙を設定する」(※P.12-29ページ)

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

 と押す

2 ピクチャーBOXの画像の一覧から、

 を押して拡大または縮小したい画像を選択する

3 ○ (決定) を押す

画像が表示されます。

4 (メニュー) を押す

5 を押して、「5. 拡大」または「6. 縮小」を選択する

6 ○ (決定) を押す

画像の表示が画面のサイズに合わせて変更されます。

 (戻る) または  を押すと、画像が元の大きさで表示されます。

お知らせ

- 本電話機の画面の表示領域は160×128ドットです。縦横いずれかがこれを上回る画像は「縮小」を行うことで画面に表示可能な大きさに縮小されます。また、縦横いずれもが表示領域を下回る大きさの画像は「拡大」を行うことで画面いっぱいまで拡大されます。
- 拡大または縮小した状態で画像をEメールに添付しても、メールには元の大きさの画像が添付されます。「ピクチャーBOXの画像をEメールに添付する」(※P.12-30ページ)

画像の一覧を並べ替える

画像一覧の表示順を並べ替えることができます。

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

 と押す

2 (メニュー) を押す

3 を押して「7. 並び替え」を選択し、○ (決定) を押す

4 を押して移動したい画像のタイトルを選択し、○ (決定) を押す

5 を押して、移動先を選択する

6 ○ (決定) を押す

並び替えが完了します。

ピクチャーBOXの画像を消去する

個別消去する

ピクチャーBOXに登録している画像データを個別に消去できます。

- 1 待ち受け画面で  (Menu ボタン)
  と押す
- 2  を押し、個別消去したい画像のタイトルを選択する
- 3  (メニュー) を押す
- 4  を押し「8.個別消去」を選択し、
 (決定) を押す

個別消去をするかどうかを確認する画面が表示されます。

- 5  を押し、「1.はい」を選択する

▶ 個別消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

- 6  (決定) を押す

選択した画像が消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 本電話機にあらかじめ登録されている画像も、個別消去することができます。一度消去した画像は、元に戻すことはできません。

一括消去する

ピクチャーBOXに登録されている画像を一括消去できます。

- 1 待ち受け画面で  (Menu ボタン)
  と押す
- 2  (メニュー) を押す
- 3  を押し「9.一括消去」を選択し、
 (決定) を押す

一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

- 4  を押し「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

- 5  (決定) を押す

もう一度、一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

- 6  を押し「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

- 7  (決定) を押す

ピクチャーBOXに保存されている画像がすべて消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 本電話機にあらかじめ登録されている画像も一括消去の対象となります。

国際ローミングを利用する（国際ローミング）

ウィルコムに、別途国際ローミングサービスをお申し込みになると、本電話機を台湾やタイ、ベトナムでも利用できるようになります。

サービスの詳細についてはウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(※A-27ページ)

▶ 台湾で使用するには

- 本電話機のローミングモードを「台湾」に切り替えます。「ローミングモードに切り替える」(※同じページ内です。)
- ローミング用の電話番号を本電話機に登録しておくことができます。「台湾のローミング電話番号を登録する」(※12-34ページ)

▶ タイまたはベトナムで使用するには

- ローミング情報を登録します。「タイ/ベトナムのローミング情報を登録する」(※12-34ページ)
- 本電話機のローミングモードを「タイ」または「ベトナム」に切り替えます。「ローミングモードに切り替える」(※同じページ内です。)

ローミングモードに切り替える

台湾、タイまたはベトナムで本電話機を使用するには、ローミングモードを各ローミング先に切り替えます。

タイまたはベトナムに切り替えるには、あらかじめローミング情報を登録しておく必要があります。「タイ/ベトナムのローミング情報を登録する」(※12-34ページ)

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

  と押す

2 を押して「1.国・地域/事業者選択」を選択し、 (決定) を押す

3 を押して、「2.台湾」、「3.タイ」または「4.ベトナム」を選択する

▶ 台湾・タイ・ベトナムのローミングから日本へ切り替えるとき

「1.日本」を選択する

4 (決定) を押す

5 を押して「1.はい」を選択し、 (決定) を押す

設定が完了します。

ローミングモードの設定中は、待ち受け画面に「」が点灯します。

お知らせ

- ローミングモードでは、次の機能はご利用になれません。
 - ・安全運転モード（ネットワーク応答、ネットワーク応答+留守電）
 - ・発信者番号付加機能（184、186）
 - ・分計発信
 - ・ライトメール
 - ・オンラインサインアップ
 - ・オフィシャルメニュー
 - ・Eメール自動受信
- ローミングモードを切り替えると、本電話機の時刻は現地時間に合わせて自動的に調整されます。また、切替の際、60秒以内の時刻の誤差が生じます。ひんばんに切替を行うと誤差が大きくなりますのでご注意ください。

台湾のローミング電話番号を登録する

台湾で使用する場合は、ローミング用の電話番号を忘れないように本電話機に登録します。登録したローミング用の電話番号は、「プロフィール表示」で表示されます。「プロフィールを表示する」(※P.12-4ページ)ローミング用の電話番号をお客様が確認するための機能です。本電話機にローミング用の番号を書き込む操作とは異なります。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押して「2.ローミング情報登録」を選択し、 (決定) を押す

3 を押して「1.台湾」を選択し、 (決定) を押す

4 ダイヤルボタンでローミング電話番号を入力する

▶すでに登録済みのローミング電話番号を修正するとき

 (メニュー) を押し、「1.修正」を選択し  (決定) を押す
ローミング電話番号を編集する画面が表示されます。

5 (決定) を押す

ローミング電話番号が登録されます。

お知らせ

- ローミング用の電話番号は、ウィルコムに国際ローミングサービスを申し込まれた際にウィルコムよりご案内があります。

タイ／ベトナムのローミング情報を登録する

タイまたはベトナムで使用する場合は、以下のローミング情報を登録します。

- ローミング先PS-ID
- PS番号
- ローミング電話番号
- 暗証番号

自動でローミング情報を登録する

ウィルコムにタイまたはベトナムでのローミングサービスをお申し込みになると、ウィルコムからローミング登録用ライトメールが送られます。ローミング登録用ライトメールを受信すると、ローミング情報は自動的に本電話機に登録されます。

ローミング登録用ライトメールは自動的に保護設定となります。「メールを保護する」(※P.8-20ページ)海外においてライトメールの受信ができないなど、ローミング情報を自動で登録できない場合は、手動でローミング情報を登録することもできます。

お知らせ

- ウィルコムからのローミング登録用ライトメールは、ローミング終了まで大切に保管してください。
- 受信したライトメールの保護件数は10件までです。すでにライトメールの保護件数が10件ある場合、ローミング登録用ライトメールは保護設定となりません。
- 「ローミング情報登録」メニューで、ローミング情報の内容を確認することもできます。

手動でローミング情報を登録する

海外にいてライトメールの受信ができないなど、ローミング情報を自動で登録できない場合は、以下の手順でローミング情報を登録します。

1 待ち受け画面で  (Menuボタン)

  と押す

2  を押して「2.ローミング情報登録」を選択し、 (決定) を押す3  を押して「2.タイ」または「3.ベトナム」を選択し、 (決定) を押す

ローミング情報登録画面が表示されます。

4 ローミング先PS-IDを入力する

- ① ローミング情報登録画面で  を押して「ローミング先PS-ID」を選択し、 (決定) を押す
- ② ダイヤルボタンでローミング先PS-IDを入力する
- ③  (決定) を押す

5 PS番号を入力する

- ① ローミング情報登録画面で  を押して「PS番号」を選択し、 (決定) を押す
- ② ダイヤルボタンでPS番号を入力する
- ③  (決定) を押す

6 ローミング電話番号を入力する

- ① ローミング情報登録画面で  を押して「ローミング電話番号」を選択し、 (決定) を押す
- ② ダイヤルボタンでローミング電話番号を入力する
- ③  (決定) を押す

7 暗証番号を入力する

- ① ローミング情報登録画面で  を押して「暗証番号」を選択し、 (決定) を押す
- ② ダイヤルボタンで暗証番号を入力する
- ③  (決定) を押す

8 ローミング情報登録画面で  (メニュー) を押す9  を押して、「1.登録」を選択する

▶ 登録済みのローミング情報を消去するには
「2.登録消去」を選択する

10  (決定) を押す

ローミング情報が登録されます。

お知らせ

- ローミング情報は、ウィルコムに国際ローミングサービスを申し込まれた際にウィルコムよりご案内があります。
- ローミング電話番号は、「プロフィール表示」で確認することができます。「プロフィールを表示する」(※ 12-4ページ)
- ローミング情報を消去した場合は、タイまたはベトナムでのご使用ができなくなりますのでご注意ください。

国際プレフィックス番号を簡単につける

ローミングモードでのご利用時に日本など、他の国や地域に電話をかけるときには、相手の国番号の前に「国際プレフィックス番号」をつける必要があります。本電話機では、簡単な操作で国際プレフィックス番号を入力することができます。
ここでは日本に電話をかける場合の例で説明をします。

1 待ち受け画面で と押す

選択した国や地域で割り当てられた国際プレフィックス番号が表示されます。

2 ダイヤルボタンで、 (日本の国番号) を入力する

3 ダイヤルボタンで、相手の電話番号から先頭の「0」を除いた番号を入力する

例えば、相手の番号が「070-1234-XXXX」の場合、「701234XXXX」と入力します。

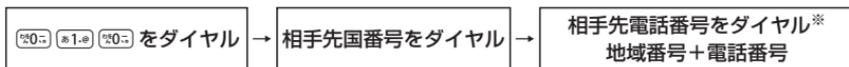
4 を押す

相手に電話がかかります。

国際電話をかける（ウィルコム国際電話サービス）

手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。
お申し込み手数料や月額料金は一切不要です。通話料だけでご利用いただけます。

相手先電話番号の前に、010と国番号を付けるだけで国際電話をかけることができます。相手先電話番号をダイヤルしたあとは、通常の電話のかけ方と同じです。



※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください。（一部の国と地域は除く）

例）ニューヨークの123-4567へかけるとき

010	→	1	→	212	→	123-4567
国際電話である ことを示す番号		アメリカの 国番号		ニューヨーク の地域番号		相手の 電話番号

お知らせ

- 国際電話の通話料は、30秒単位での課金となります。
- 国際電話料金（非課税）は、毎月ウィルコムご利用料金と合算してのご請求となります。
- 通話相手先の国や地域によっては、現地事業者の設備の都合により接続できない場合があります。
- 国際電話のご利用にあたっては、毎月のご利用限度額10,000円（非課税）が設定されています。超過した場合はライトメールでお知らせいたします。ご利用限度額の設定解除などを希望される場合は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

ウィルコム サービスを利用する

料金分計サービスを利用する（有料）

料金分計サービスを使うと、通話料金の請求先を2箇所に分けられます。分計サービスを使わないときの通話料金は契約者の方（主計先）へ、分計サービスを使ったときの通話料金はあらかじめ登録された方（分計先）へ請求されます。料金分計サービスを使うには、あらかじめ契約が必要です。

料金分計サービスを利用する場合は、公衆を含んだ待受モードに設定してください。「待受モードを切り替える（待受モード）」（※13-3ページ）

なお、ライトメールや、フレックスチェンジ方式・パケット方式でのデータ通信、CLUB AIR-EDGEへの接続および国際ローミングモードでのご利用は、分計サービスの対象外です。

詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（※A-27ページ）

分計サービスを使って電話をかける

1 ダイヤルボタンを押して、相手の電話番号を入力する

2 （メニュー）を押す

サブメニューが表示されます。

3 を押して「4.分計発信」を選択し、 （決定）を押す

画面中央に「分計」と表示されます。

4 を押す

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

お知らせ

- 先に  を押してから電話番号を入力する順で発信するときには、分計発信はできません。
- 分計発信は、「公衆」を含むモードに設定しているときに利用可能です。ただし、デュアルモード（公衆+オフィス）に設定しているときに、オフィスモードで発信したときは話中音が鳴り、分計発信できません。
- 一度分計発信を設定した後に、分計発信を取りやめたい場合は、もう一度手順2～4の操作を行ってください。分計発信の設定が解除され、画面から「分計」という表示が消えます。
- 「184」または「186」をつけて、分計発信することもできます。「通話ごとに発信者番号の通知/非通知を設定する」（※7-4ページ）

リダイヤル/着信履歴/ダイヤルメモから料金分計サービスを使って電話をかける

1 待ち受け画面で を押す

リダイヤルが表示されます。

- ▶ 着信履歴を表示させるには
待ち受け画面で  を2回押す

2 を押して、かけたい電話番号を選択する

「リダイヤル/着信履歴/ダイヤルメモで電話をかける」（※7-6ページ）

3 （メニュー）を押す

- 4  を押して「4.分計発信」を選択し、
○ (決定) を押す

画面中央に「分計」と表示されます。

- 5  を押す

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

電話帳から分計サービスを使って電話をかける

- 1 待ち受け画面で  を押す

電話帳検索画面が表示されます。

- 2  を押して、電話をかける相手を選択する

「電話帳を使って電話をかける」(※7-36ページ)

- 3 電話帳詳細画面で ○ (決定) を押す

- 4  (メニュー) を押す

- 5  を押して「4.分計発信」を選択し、
○ (決定) を押す

画面中央に「分計」と表示されます。

- 6  を押す

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

留守番電話サービスを利用する (有料)

すぐに電話に出られないときや、電源を切っているとき、また、サービスエリア外にいるときや通話中のときなどに、留守番電話センターが電話をかけてきた相手からのメッセージを預かります。留守番電話サービスのご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(※A-27ページ)

■留守番電話センターに新しいメッセージがあるとき

公衆モードで待ち受け状態のときに、留守番電話センターにメッセージがあると、待ち受け画面に「」が点灯します。

リマインダーを「ON」に設定しているときは、着信LEDが点滅します。いずれかのボタンを押すと点滅は停止します。「リマインダーを設定する」(※12-10ページ)

お知らせ

- 留守番電話サービスは文字メッセージを受けることはできません。
- 留守番電話サービスは、着信転送サービスと同時にご利用になれません。「着信転送サービスを使う」(※12-40ページ)

留守番電話センターに保存されたメッセージを聞く

- 1 待ち受け画面で ○ (決定ボタン) を押す

マイメニュー画面が表示されます。

- 2  を押して、「」を選択する

- 3 ○ (決定) を押す

▶ 留守番電話センターへの発信を中止するとき

 (キャンセル) を押す

4 を押す

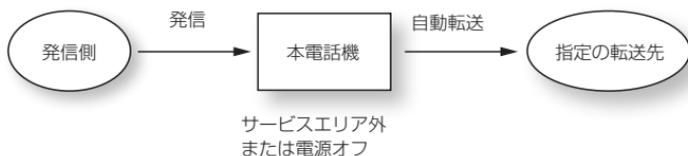
留守番電話センターにつながります。音声ガイダンスに従って操作してください。
メッセージがすべて再生、または消去されると「」の表示が消えます。

お知らせ

- メッセージが保存されているときに「*9311」に電話をかけると、メッセージを再生する前に発信者番号をガイダンスでお知らせします。
- ブッシュ音の出せる一般電話や公衆電話から「0077-780-931」に電話をかけてメッセージを聞くこともできます。この場合、留守番電話サービス契約時に指定した暗証番号が必要です。
- 留守番電話サービスについての詳細は、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(≒A-27ページ)

着信転送サービスを使う

電源を切っているときやサービスエリア外にいるときや通話中にかかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号に転送できます。転送先の設定は、ウィルコムの電話機、一般電話、公衆電話などから行います。



便利な使いかた

着信転送サービスについては、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(≒A-27ページ)

お知らせ

- 日本国外の電話番号など、一部、転送先に指定できない電話番号があります。
- 転送先に発信側の番号、非通知理由などは表示されません。

ウィルコムのサービスを利用する

ダイヤルアップ接続時にワンタイムパスワードを使用する

ダイヤルアップ接続時のワンタイムパスワード機能について

「ワンタイムパスワード」の機能を利用して、ダイヤルアップ接続時に毎回ユーザー名とパスワードを入力し接続するよう設定します。

■ワンタイムパスワード機能が使用できるモード

ワンタイムパスワード機能が使用できるのは、下記のいずれかのモードでダイヤルアップ接続の設定を行っている場合です。

- 公衆モードで、「公衆動作モード」を「手動設定」にしている場合
- オフィスモードの場合

■パスワード入力が必要になる操作

ワンタイムパスワード機能を有効にすると、以下のような操作の際に、ワンタイムパスワード入力画面が表示され、ユーザー名とパスワードの入力を求められます。

- ・ URL を入力して Web ページに接続する
- ・ 最後に表示した Web ページ (ラスト URL) に接続する
- ・ ブックマークに登録されている URL から Web ページに接続する
- ・ 画面メモに保存された Web ページ内のリンクを選択して Web ページに接続する
- ・ メール本文中にあるリンクを選択して Web ページに接続する
- ・ E メールを送受信する (E メール自動受信は除く)

ワンタイムパスワードを有効にする

ワンタイムパスワード機能を有効にするには、ダイヤルアップ設定で「ワンタイムパスワード」の設定を「ON」にします。「ダイヤルアップを設定する」(≒ 9-29ページ)

ワンタイムパスワードを入力する

ワンタイムパスワード機能を有効にすると、Webへの接続やEメール送受信の際にワンタイムパスワード入力画面が表示されます。この画面で、ユーザー名とパスワードを入力します。

- 入力するユーザー名とパスワードは、プロバイダなどから通知されている接続用のユーザー名・パスワードです。

1 Webページへの接続、またはEメール送受信の操作をする

ワンタイムパスワード入力画面が表示されます。

2 ユーザー名の入力が必要な場合は、を押して「ユーザー名」を選択し、（決定）を押す

- ▶ ユーザー名がすでに入力されているとき
ダイヤルアップ設定でユーザー名を設定済み
の場合は、そのユーザー名が最初から入力
されています。変更する必要がなければ、手順
4へ進みます。「ダイヤルアップを設定する」
(☞ 9-29ページ)

3 ユーザー名を入力し、（決定）を押す

- ▶ ユーザー名を修正するには
カーソル位置の文字を1文字消す：
を押す
カーソル位置を含む右側の文字をすべて消す：
を約1秒以上押す

4 パスワードの入力が必要な場合は、を押して「パスワード」を選択し、（決定）を押す

- ▶ パスワードがすでに入力されているとき
ダイヤルアップ設定でパスワードを設定済み
の場合は、そのパスワードがワンタイムパス
ワード入力画面のパスワード欄に「*」で表
示されています。同じパスワードで接続する
場合は、手順7へ進みます。「ダイヤルアップ
を設定する」(☞ 9-29ページ)

5 ダイヤルボタンでパスワードを入力する

- ▶ パスワードを修正するには
カーソル位置の文字を1文字消す：
を押す
カーソル位置を含む右側の文字をすべて消す：
を約1秒以上押す

6 （決定）を押す

7 を押して「OK」を選択し、（決定）を押す

ダイヤルアップ接続が開始されます。

▶ 接続に失敗したとき

ユーザー名またはパスワードに誤りがあり、
ダイヤルアップ接続できない場合は、「接続に
失敗しました」と表示され、待ち受け画面に
戻ります。

お知らせ

- Webページを表示した後で回線を切断したときなど、ブラウザを起動したままで再接続する場合には、ユーザー名・パスワードの入力は不要です。直前に入力したユーザー名とパスワードで再接続されます。
- ワンタイムパスワード入力画面では、は無効です。待ち受け画面に戻るには、（キャンセル）または  を押してください。